

平成31年1月～令和元年12月の新千歳空港の旅客数は約2,459万5,000人で、うち国内線は前年と比較して5.9%増の約2,073万3,000人、国際線は3.7%増の約386万2,000人で、6年連続で過去最高を更新しました。

新千歳空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し94年を迎えます。

新千歳空港は、2本の3,000m滑走路を有する北海道における基幹空港です。

平成6年に日本初の24時間空港として運用を開始し、北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しています。

平成22年3月には国際線旅客ターミナルが供用を開始し利便性が格段に向上しました。航空路は元年実績で国内各地31都市、海外では中国、韓国、台湾などの26都市と結ばれています。国内線乗降客数は東京国際空港（羽田）に次いで2番目に多い利用者数となっています。また、世界最大級の輸送人員を誇る路線として知られる新千歳 - 羽田線には1日54往復（2年4月現在）が運航し、年間約1,019万人が利用しています。

また、空港の民間委託により、令和2年6月から、運営権者によって滑走路等の航空系事業とターミナルビル等の非航空系事業の一体的な運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営により、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、新千歳空港のさらなる発展が期待されます。

千歳市管内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の4つの旅客駅が設置されています。平成30年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内2位、8位と利用者が多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市か

らの空港連絡鉄道のほか本州連絡鉄道としての性格を帯びています。国道36号は札幌 - 千歳 - 苫小牧 - 室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道5路線と道道14路線が鉄道とともにネットワークを構成し、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

昭和46年には北海道初の高速幹線自動車道・北海道縦貫自動車道の一部である千歳 - 北広島間が開通し、現在は札幌ジャンクションから小樽方面へ、千歳恵庭ジャンクションから道東方面を結ぶ北海道横断自動車道は、阿寒まで直結しています。

また、平成25年8月に新千歳空港インターチェンジが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和2年3月に、新たに千歳 - 長沼間を結ぶ泉郷道路が開通するなど整備が進んでいます。

鉄道と道路で直結した苫小牧・室蘭には国際拠点港湾があり、千歳は北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点です。



59 新千歳空港概要

(1) 基本施設

面積 728 万㎡
 滑走路 A滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 B滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 誘導路 延長 14,625 m 幅 23m~58m
 エプロン 面積 798,613㎡ 大型航空機用50バース 中型航空機用3バース
 小型航空機用8バース

東京航空局新千歳空港事務所

(2) 旅客ターミナルビル

ア 床面積・用途

(単位 ㎡)

区分	国内線ターミナルビル	用途
地下1階	23,807	
1階	43,972	バゲージクレーム 到着ロビー等
2階	57,582	出発ロビー 搭乗待合室 ショッピングワールド等
3階	36,624	グルメワールド 有料待合室 ホテル等
4階	16,815	温泉施設 映画館 ホテル等
5階	4,722	ホテル等
塔屋	610	
計	184,132	
区分	国際線ターミナルビル	用途
地下1階	821	
1階	27,302	車寄せロビー ホテル等
2階	41,510	到着ロビー 到着コンコース ホテル等
3階	42,807	出発ロビー 出発コンコース ホテル等
4階	16,259	有料待合室 ホテル等
5階	4,146	ホテル等
6階	3,580	ホテル等
7階	3,580	ホテル等
8階	3,580	ホテル等
塔屋	53	
計	143,638	
区分	連絡施設	用途
地下1階	224	
1階	1,815	ホール
2階	8,072	連絡通路等
3階	8,072	エンターテイメント施設
4階	2,942	機械室等
5階	—	
塔屋	3	
計	21,128	

イ 機械設備

(ア) 国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	20基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	13基
	出発・到着ベルトコンベア	28基（出発18 到着10）
	ダムウェーター	2基
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード	121台・自動放送装置
デジタルメディア設備	43台（情報配信端末31台	タッチパネル端末12台）
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機	

(イ) 国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	13基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	6基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	25基
	ホテル客用エレベーター	4基
	人荷用エレベーター	15基
	出発・到着ベルトコンベア	37基（出発26 到着11）
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード	158台・自動放送装置
デジタルメディア設備	31台（情報配信端末21台	タッチパネル端末10台）
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

(ウ) 連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	8基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード	20台
デジタルメディア設備	20台（情報配信端末18台	タッチパネル端末2台）

新千歳空港ターミナルビルディング^(株)



(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア 航空会社棟

(単位 m²)

区 分	日本航空棟	A N A 棟	用 途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1 階	7,990	5,618	
2 階	965	369	
計	9,439	6,223	

イ 代理店棟 (日通棟を含む)

(単位 m²)

区 分	代理店上屋	用 途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1 階	4,645	
2 階	1,269	
計	6,159	

新千歳空港ターミナルビルディング(株)

(4) ターミナルアネックスビル

(単位 m²)

区 分	ターミナルビル付属棟	用 途
地下1階 (塔屋含む)	7,602	事務室等

新千歳空港ターミナルビルディング(株)

(5) ケータリング (機内食) 施設

(単位 m²)

区 分	ケータリング施設	用 途
1 階 (塔屋含む)	10,160	機内食工場・食品調整工場等

新千歳空港ターミナルビルディング(株)

(6) 車両整備格納庫

(単位 m²)

区 分	A 棟	B 棟	用 途
1 階 (塔屋含む)	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫
2 階			

新千歳空港ターミナルビルディング(株)

60 新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総 数	乗 客	降 客
27年	(2,112,737) 20,461,531	(1,047,280) 10,290,170	(1,065,457) 10,171,361
28年	(2,579,899) 21,311,918	(1,283,552) 10,726,893	(1,296,347) 10,585,025
29年	(3,290,366) 22,718,612	(1,635,742) 11,416,230	(1,654,624) 11,302,382
30年	(3,725,840) 23,313,311	(1,853,677) 11,704,296	(1,872,163) 11,609,015
元 年	(3,862,160) 24,594,904	(1,927,413) 12,346,960	(1,934,747) 12,247,944
1月	(439,661) 2,022,771	(218,006) 1,029,902	(221,655) 992,869
2月	(411,441) 1,974,607	(209,289) 1,005,426	(202,152) 969,181
3月	(340,179) 2,082,873	(174,568) 1,058,694	(165,611) 1,024,179
4月	(272,770) 1,703,153	(140,989) 834,630	(131,781) 868,523
5月	(317,068) 2,076,963	(150,609) 1,050,026	(166,459) 1,026,937
6月	(334,253) 2,094,569	(164,027) 1,044,962	(170,226) 1,049,607
7月	(396,176) 2,253,245	(196,343) 1,123,917	(199,833) 1,129,328
8月	(312,085) 2,412,620	(165,431) 1,226,239	(146,654) 1,186,381
9月	(194,517) 2,151,995	(94,709) 1,089,914	(99,808) 1,062,081
10月	(239,061) 2,006,305	(120,187) 1,019,060	(118,874) 987,245
11月	(227,381) 1,878,882	(109,142) 934,472	(118,239) 944,410
12月	(377,568) 1,936,921	(184,113) 929,718	(193,455) 1,007,203

1 ()内は国際線乗降客数で再掲である

2 令和元年の数値は速報値

国土交通省「空港管理状況調書」、東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

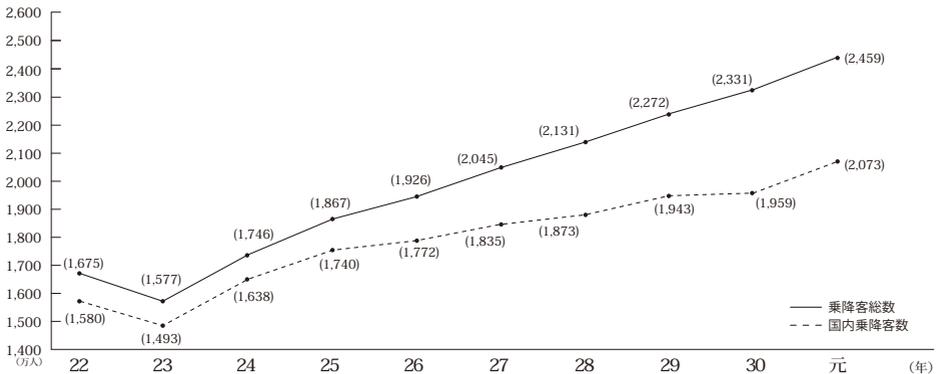
61 新千歳空港乗降客数（令和元年）

種別	路線	乗降客数	
総数		24,594,904	
国内線総数		20,732,744	
拠点空港	社会管理空港	成田	1,946,940
		中部	1,716,502
		関西	1,234,853
		大阪	1,273,826
	国管理空港	稚内	60,633
		釧路	106,430
		函館	84,163
		仙台	907,644
		新潟	168,059
		東京	10,187,364
特定地方管理空港	広島	176,598	
	福岡	699,592	
	沖縄	110,578	
地方管理空港	秋田	35,276	
	山形	125,050	
	福島	36,184	
	富山	22,151	
	石川	115,770	
	福井	234,905	
	岐阜	167,788	
	愛知	97,839	
三重	62,227		
和歌山	72,758		

種別	路線	乗降客数
地方管理空港	松本	46,957
	静岡	81,400
	神戸	578,076
	岡山	87,610
共用空港	出雲	5,379
	茨城	194,016
	小松	91,447
	徳島	3,613
	その他	1,116
国際線総数		3,862,160
中国 (北京、上海、天津、杭州、南京、大連、無錫、青島)		649,541
韓国 (ソウル、釜山、大邱、清州、務安)		1,188,172
台湾 (台北、高雄)		845,916
香港		465,751
その他定期路線 (ホノルル、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、マニラ、ユジノサハリンスク、ウラジオストク、ヘルシンキ、シドニー)		706,666
チャーター便等		6,114

東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

乗降客数の推移



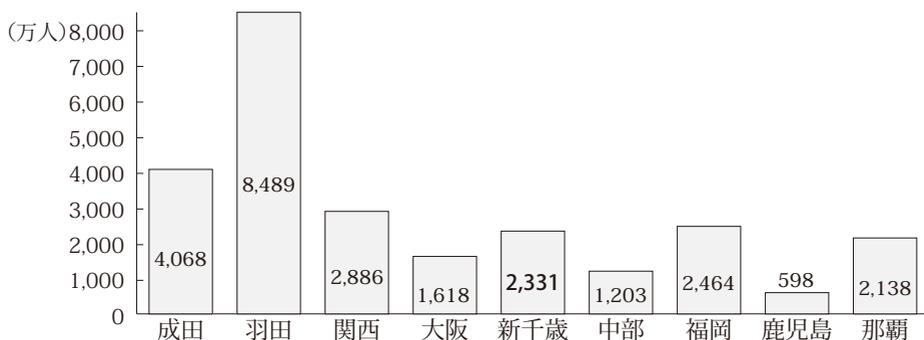
62 新千歳空港貨物取扱量の推移

(単位 kg)

区分	総数		積荷		降荷	
	30年	元年	30年	元年	30年	元年
総数	(25,398,482) 195,378,798	(18,041,188) 172,497,951	(20,546,547) 100,771,297	(13,364,812) 84,849,220	(4,851,935) 94,607,501	(4,676,376) 87,648,731
1月	(1,880,336) 13,591,164	(1,696,319) 11,860,371	(1,557,469) 6,385,119	(1,381,783) 5,393,031	(322,867) 7,206,045	(314,536) 6,467,340
2月	(2,787,152) 14,749,807	(1,424,792) 11,797,810	(2,513,197) 7,314,040	(1,170,010) 4,996,702	(273,955) 7,435,767	(254,782) 6,801,108
3月	(2,143,010) 16,149,954	(1,326,532) 13,567,673	(1,772,864) 7,148,759	(981,021) 5,638,793	(370,146) 9,001,195	(345,511) 7,928,880
4月	(2,071,013) 14,601,429	(1,424,768) 12,763,247	(1,681,684) 6,730,844	(1,057,143) 5,550,897	(389,329) 7,870,585	(367,625) 7,212,350
5月	(2,045,645) 13,993,034	(1,551,435) 12,232,727	(1,711,760) 6,749,602	(1,141,171) 5,585,923	(333,885) 7,243,432	(410,264) 6,646,804
6月	(1,819,302) 14,717,901	(1,395,548) 13,413,305	(1,442,689) 7,168,634	(1,042,484) 6,685,696	(376,613) 7,549,267	(353,064) 6,727,609
7月	(2,032,935) 18,332,501	(1,273,495) 16,538,640	(1,655,138) 10,872,189	(915,494) 9,370,443	(377,797) 7,460,312	(358,001) 7,168,197
8月	(2,092,042) 18,666,715	(1,180,731) 15,324,091	(1,694,888) 10,864,744	(813,337) 8,348,669	(397,154) 7,801,971	(367,394) 6,975,422
9月	(2,331,982) 17,899,639	(1,583,166) 16,387,260	(1,945,108) 10,788,555	(1,183,421) 9,337,541	(386,874) 7,111,084	(399,745) 7,049,719
10月	(2,243,291) 18,521,222	(1,532,934) 16,541,586	(1,722,315) 10,945,187	(1,097,771) 9,120,553	(520,976) 7,576,035	(435,163) 7,421,033
11月	(1,999,861) 15,880,187	(1,875,795) 14,268,019	(1,386,477) 7,675,079	(1,313,434) 7,022,108	(613,384) 8,205,108	(562,361) 7,245,911
12月	(1,951,913) 18,275,245	(1,775,673) 17,803,222	(1,462,958) 8,128,545	(1,267,743) 7,798,864	(488,955) 10,146,700	(507,930) 10,004,358

1 ()内は国際貨物量で再掲である
東京航空局新千歳空港事務所 (空港政策課)

主要空港乗降客数(平成30年)



<資料>国土交通省「空港管理状況調査」

63 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,060万㎡

滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)

西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表233(3)に再掲

航空自衛隊千歳基地

※基地全体 1,054万㎡

飛行場 621万㎡

64 空港除雪車両車種別保有台数

車種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スノーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	8

車種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	2
計	51

1 令和2年4月1日現在

東京航空局新千歳空港事務所

65 鉄道旅客輸送人員の推移 (乗車人員)

(単位 千人)

駅名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総数	8,768	9,181	9,572	10,012	10,356
千歳駅	3,114	3,156	3,193	3,262	3,317
南千歳駅	513	511	495	510	557
新千歳空港駅	5,141	5,514	5,884	6,240	6,482

1 長都駅は無入駅のため不詳 美々駅は平成29年3月4日廃止

北海道旅客鉄道(株)経営企画部

66 平成30年度道内駅別乗車人員 (1日平均)

(単位 人)

順位	駅名	乗車人員	順位	駅名	乗車人員
1 (1)	札幌	99,593	11 (11)	恵庭	7,321
2 (2)	新千歳空港	17,759	12 (12)	大森	7,100
3 (3)	手稲	15,574	13 (13)	野幌	6,499
4 (4)	新札幌	14,674	14 (14)	星置	6,011
5 (5)	琴似	11,686	15 (15)	旭川	5,196
6 (6)	桑園	10,518	16 (16)	岩見沢	4,700
7 (7)	小樽	9,459	17 (17)	稲積公園	4,673
8 (8)	千歳	9,087	18 (18)	発寒	4,581
9 (9)	白石	8,285	19 (20)	苗穂	4,534
10 (10)	北広島	7,738	20 (19)	発寒中央	4,388

1 ()内は前年度順位

北海道旅客鉄道(株)経営企画部

67 高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道 函館名寄線
区間	茅部郡森町―士別市
延長	443.5km (千歳市域9.5km)
車線数	4車線 (一部暫定2車線)
設計速度	120km/時、100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度100km/時 (一部区間80km/時又は70km/時) 最低速度50km/時

サービスエリア 4か所 (有珠山 樽前 岩見沢 砂川)

パーキングエリア 11か所 (八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪)

1 令和2年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(2) 道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道 黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市―釧路市、足寄町 (国 直轄区間 (本別～阿寒) を含む)
延長	254.1km (千歳市域18.4km)
車線数	暫定2車線
設計速度	100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度70km/時 (一部区間80km/時)

サービスエリア 1か所 (十勝平原)

パーキングエリア 5か所 (キウス 由仁 占冠 長流枝 上浦幌)

1 令和2年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(3) 供用状況(インターチェンジ)

大沼公園―24―森―23―落部―21―八雲―18―国縫―13―長万部―9―虻田洞爺湖―6―伊達―4―室蘭―3―登別室蘭―61―

小樽―46―札幌西―4―

登別東―60―白老―58―苫小牧西―55―苫小牧東―53―新千歳空港―53―**千歳**―46―北広島―54―札幌南―60―札幌―58―

H25.8.3開業

15―足寄

11―夕張―23―占冠―21―トマム―19―十勝清水―7―池田―15―本別―21―浦幌―26―白糠―27―阿寒
(ジャンクションは本別)

一岩見沢―62―美唄―63―滝川―元―深川―2―旭川鷹栖―12―和寒―15―士別釧淵

- 1 令和2年3月31日現在
 - 2 供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
 - 3 千歳―阿寒・足寄間は道東自動車道を示す (ジャンクションは千歳恵庭)
 - 4 札幌―小樽間は札幌自動車道を示す (ジャンクションは札幌)
- NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移 (単位 台)

年度	総 数	日 平 均
27	4,156,185	11,356
28	4,274,643	11,711
29	4,371,193	11,976
30	4,497,284	12,321
元	4,597,756	12,562



NEXCO東日本北海道支社

68 バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移 (単位 千人)

年度	27	28	29	30	元
輸送人員	2,994	2,909	2,779	2,900	2,904

1 千歳市内に路線を持つ会社4社の合計である
北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(2) 会社別・路線別輸送人員 (令和元年度) (単位 千人)

会社名	路線	輸送人員	会社名	路線	輸送人員
北海道中央バス		2,036	千歳相互観光バス		573
	千 歳	914		青 葉	73
	千歳空港支笏湖	56		泉 沢	382
	苫 小 牧	250		勇 舞 空 港	82
	千 歳 市 内	816		市民病院プール	36
道 南 バ ス		265	あつまバス	千 歳	30
	苫小牧千歳空港	176			
	室蘭千歳空港	89			

北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(3) ビーバス輸送人員の推移

(単位 人)

年度・月	総 数	中央バス Aコース	相互バス Bコース	便 数
23年度	114,176	60,716	53,460	5,375
24年度	114,074	61,329	52,745	5,360
25年度	114,062	60,856	53,206	5,360
26年度	117,658	62,840	54,818	5,380
27年度	117,073	63,057	54,016	5,376
28年度 4月	8,685	4,796	3,889	440
5月	8,831	4,812	4,019	448
6月	9,570	5,258	4,312	448
7月	9,326	5,107	4,219	456
8月	9,287	5,059	4,228	460
9月	10,146	5,551	4,595	448
合計	55,845	30,583	25,262	2,700

1 ビーバスは全市的な路線の見直しにより平成28年9月30日で廃止
市民生活課

69 タクシーの輸送状況の推移

年	会社数(社)	登録台数(台)	実車走行距離(千km)	乗車人員(千人)
28	6	178	5,666	2,313
29	6	183	5,817	2,325
30	6	193	6,136	2,360
31	6	190	6,302	2,333
2	6	190	5,999	2,159

1 各年3月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70 自動車車種別登録台数の推移

(単位 台)

車 種	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	74,052	74,232	75,862	77,957	80,432
貨物自動車					
普通車	2,594	2,634	2,636	2,714	2,741
小型四輪車	2,493	2,626	2,660	2,884	2,872
小型三輪車					
被けん引車	244	253	238	258	273
乗合自動車					
普通車	199	215	225	256	264
小型車	172	177	183	203	229
乗用自動車					
普通車	16,204	16,478	17,370	18,665	20,168
小型車	24,409	23,639	23,614	23,469	23,375
特殊用途車					
普通車	1,165	1,174	1,170	1,213	1,260
小型車					
大型特殊車	650	654	667	672	700
小型二輪車	1,311	1,291	1,326	1,346	1,368
軽自動車	24,611	25,091	25,773	26,227	27,182

1 各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局

71 電話加入状況の推移

(単位 台)

年度	加 入 電 話					公 衆 電 話	
	総 数	区 分		100人 当 たり 普及台数	住 宅 用 電 話 比 率 (%)	総 数	1,000人 当 たり 普及台数
		事務用	住宅用				
27	14,841	2,301	11,998	15.6	80.8	147	1.6
28	16,172	4,632	11,540	16.9	71.4	137	1.4
29	15,152	4,403	10,749	15.8	70.2	132	1.4
30	14,167	4,173	9,994	14.7	70.5	123	1.3
元	13,123	3,896	9,227	13.6	70.3	130	1.3

1 各年度末現在 (INSネット回線含む)
2 INSネット1500は10回線換算とした
NTT東日本(株)北海道支店

72 郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び 印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
28	15	1	119	106
29	15	1	124	107
30	15	1	121	104
31	15	1	129	100
2	15	1	133	100

1 各年4月1日現在

日本郵便株式会社 北海道支社

※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73 テレビ受信契約数の推移

(単位 件)

年 度	契 約 数	衛星契約数（再掲）
26	34,512	14,711
27	35,099	15,355
28	35,790	15,990
29	36,558	16,713
30	37,140	17,218

1 各年3月31日現在

2 NHKホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」